

障害者の健康・栄養状態に関する効果的な支援

▶ キーワード：障害者、栄養ケア・マネジメント

▶ 研究概要：

障害児者が自立して日常生活を営み、尊厳ある自己実現をめざすためには、良好な健康・栄養状態を維持し、「食べる楽しみ」を支援していくことが重要です。障害児者では、**低栄養と過栄養の二重負荷**が存在するとともに、食事時の特徴として、摂食・嚥下機能障害や偏食、感覚過敏等が観察され、**個別の栄養ケア**が必須となっています。そこで、「障害者の健康・栄養状態に関する効果的な支援」を研究テーマにしています。

▶ どのような共同研究・連携に結びつけられるか？

障害者特性を踏まえた**栄養ケア・マネジメントの効果**に関する共同研究の実施や**適切な実務のあり方**について助言します。また、講演にも対応します。

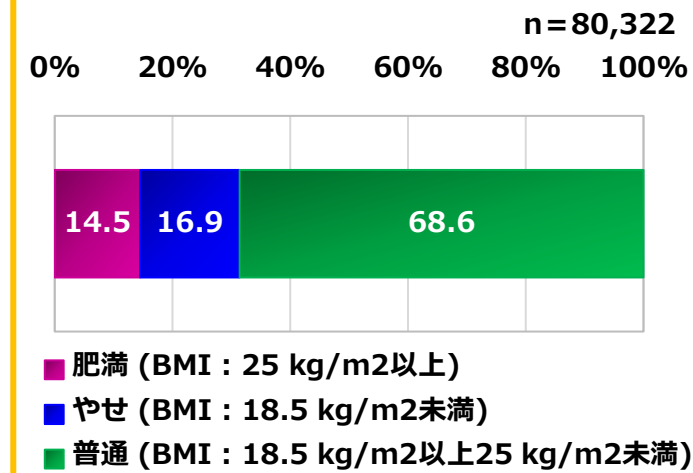
▶ 研究者

教授 大和田 浩子

専門分野：公衆栄養学



障害者支援施設利用者の肥満・やせの状況
(男女18歳以上)



Ohwada H, et al. Nutritional Status and Nutritional Management Implementation for Residents with Disabilities in Welfare Facilities: A Nationwide Survey in Japan. J Nutr Sci Vitaminol 2022;68:390-398.から作図